

各論

第1章 介護予防の推進と高齢者の生きがいくりの充実

第1節 生涯現役社会の実現と自立支援・重度化防止、健康づくりの推進

① これまでの取り組みと現状

本市では、介護認定を受けない元気高齢者を増やすための介護予防への取り組みが、介護保険料を財源の一部として「地域支援事業」という位置づけで、2006(平成18)年度から開始されました。地域のひろば推進事業や、介護保険ボランティアポイント事業、介護予防普及啓発事業、地域リハビリテーション活動支援事業など様々な介護予防事業を展開してきました。

また、介護予防・日常生活支援総合事業が平成29年度から開始されたことから、要支援者の一部は介護認定を待たずともサービス利用ができる仕組みの一つとして、通所型サービスC事業の拡充に取り組んできました。

② 課題

- 住民主体の通いの場の拡充・発展
- 専門職の視点を入れた介護予防事業の実施
- 元気高齢者がサービスの担い手となり、社会参加ができる環境整備
- 介護予防事業の再構築及び一般介護予防事業評価事業への取り組みの充実

③ 基本事業の方向性

地域の身近な場所で行う介護予防等の取り組みとして「地域のひろば」の実施箇所を今後も拡充し、体操や運動に特化した「運動体操グループ(仮称)」を新規に取り組み、通所型サービスC事業や通所介護等を終了した方等の受け皿としても活用していきたいと考えます。

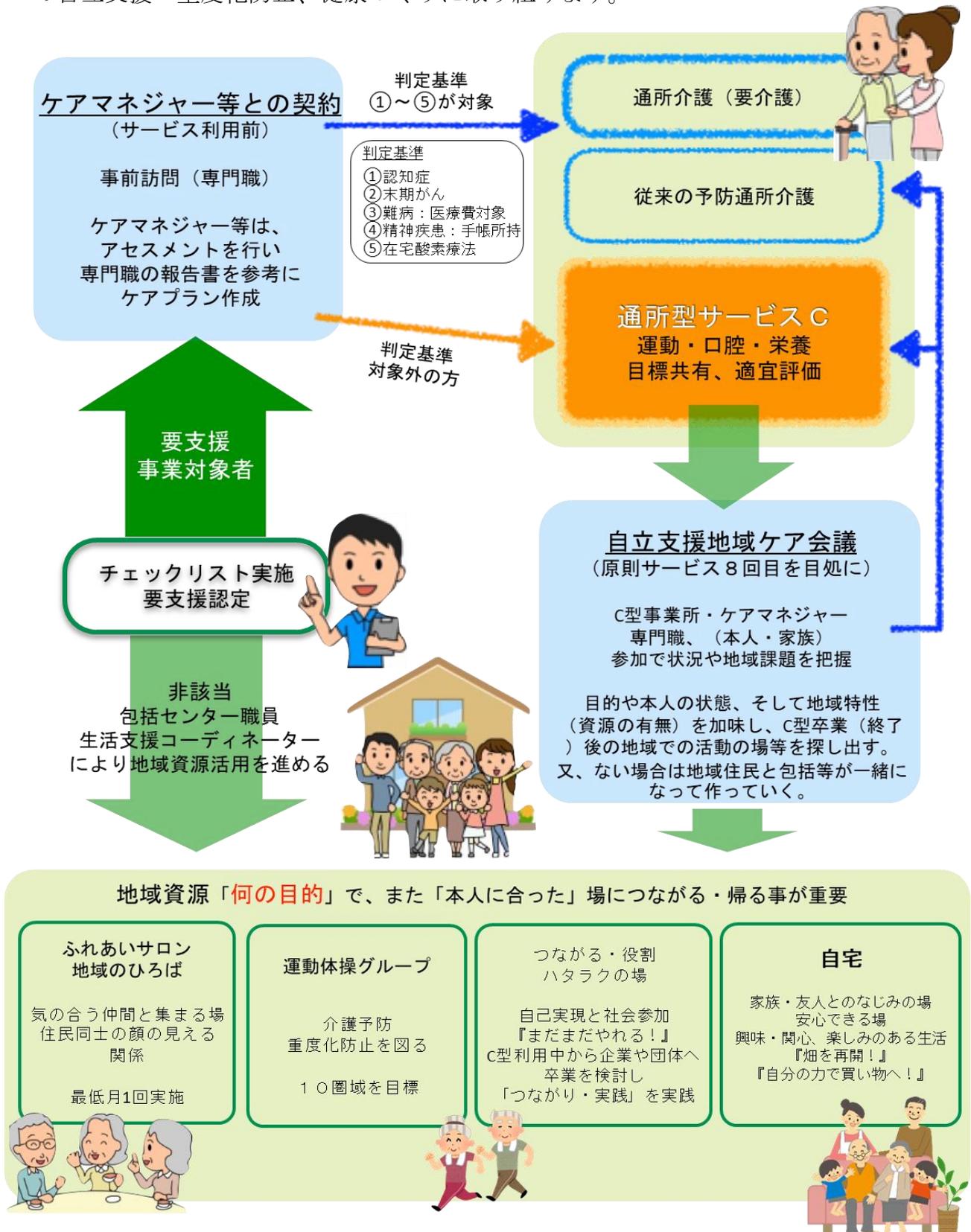
そのためには、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハビリ専門職の関与が必須であり、引き続き、霧島どんサポートの会等との連携を図ってまいります。

介護予防の推進に向けて、庁内各課、関係機関等と連携及び目標の共有を図り、次ページに示す介護予防のしくみ「きりしまスタイル」の実現に向けて取り組みます。

1 本市が目指す介護予防のしくみ

(1) 本市の介護予防のしくみ「きりしまスタイル」

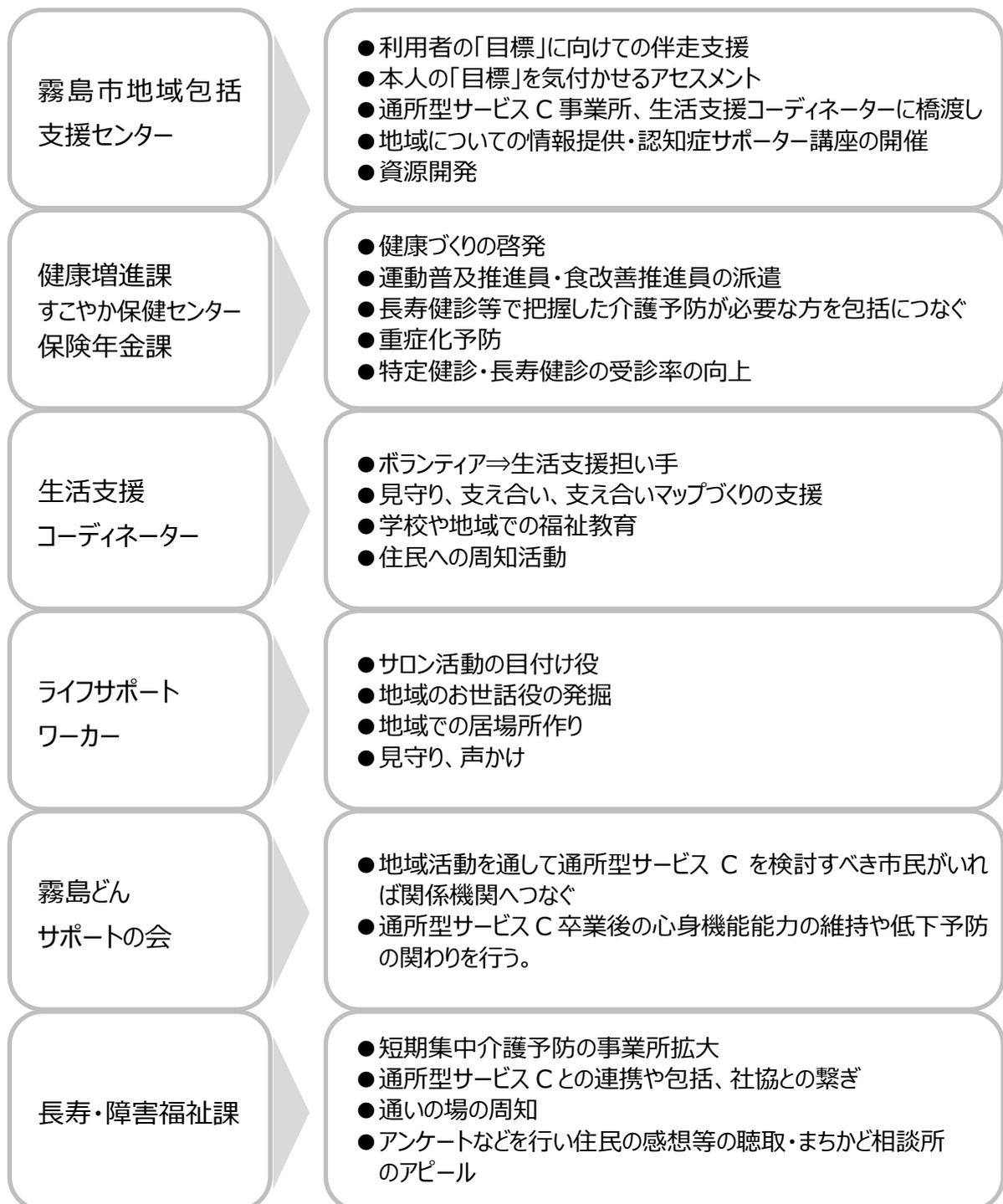
各種事業が連動し、各関係機関等が連携する介護予防のしくみの実現を目指し、市民の自立支援・重度化防止、健康づくりに取り組めます。



(2) 「きりしまスタイル」の実現に向けた各団体の役割

各関係機関等が連携し、それぞれの特徴を活かすとともに、本市の多様な社会資源を活用することで「きりしまスタイル」の実現を目指します。

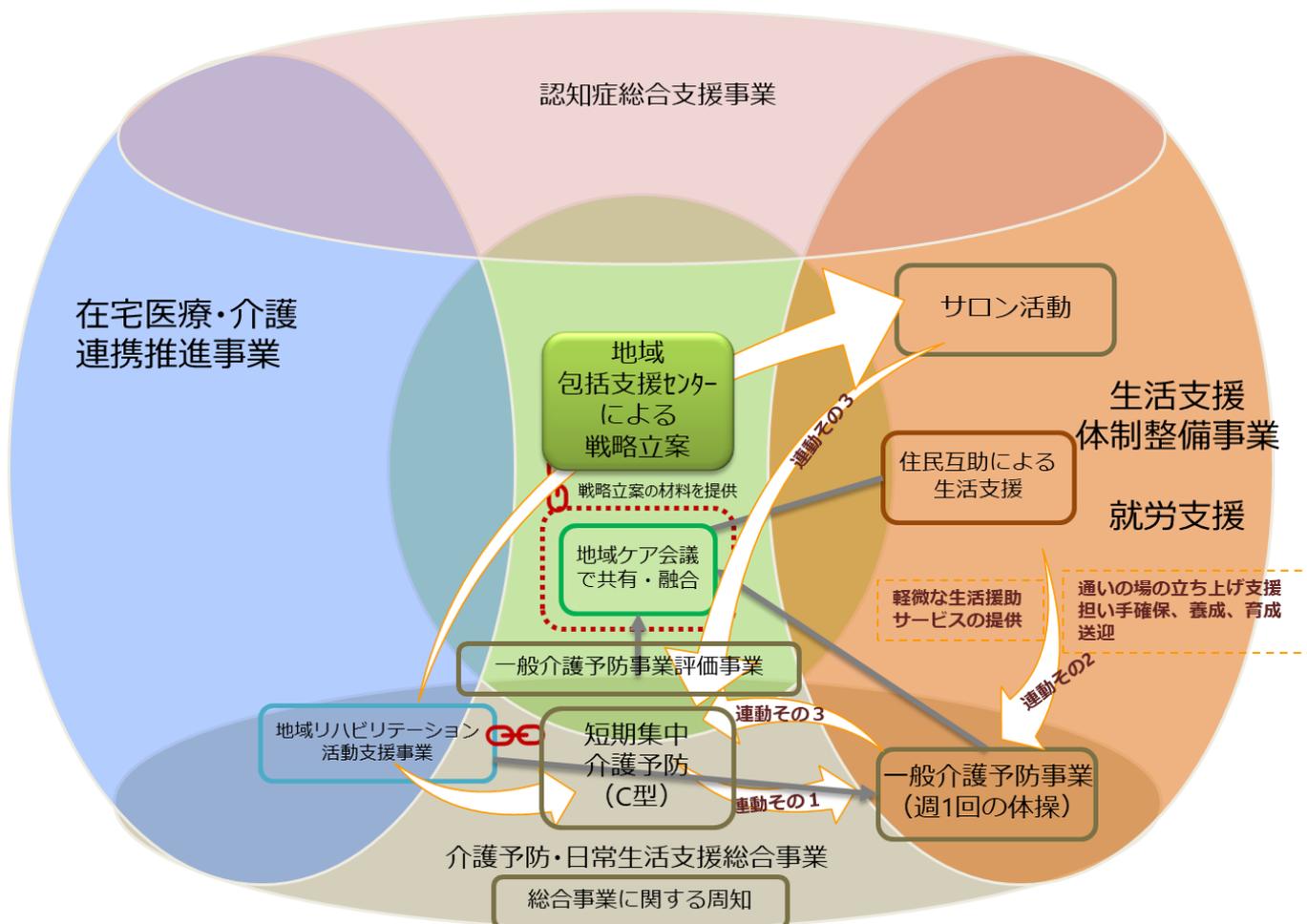
「きりしまスタイル」の実現を目指す中で、各関係機関等の役割は以下の通りです。



各団体の役割（令和2年10月8日に実施した計画策定ワーキング意見の抜粋）

2 介護予防の推進

本市では、介護予防事業を推進することで、新規認定者の減少、自立支援の促進を目指します。そのためには、下記のような各種事業が連動し、令和2年度から拡充した通所型サービスC事業を起点とした「介護予防事業から地域活動への新たな流れ」が生まれるような事業展開を図ります。



資料) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社平成30年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「地域支援事業における連動性の確保に関する調査研究」報告書概要版を基に加工

本目標のKPI

	平成30年実績	令和5年目標
新規認定者のうち、自立レベルの高い認定者割合の減少	21.3% (H28-30 累計)	17.5% (R2-4 累計)
通所型サービスCから地域活動につながった人数	-	80人
自立レベルの高い方が介護認定を受けずとも利用できる総合事業対象者として、通所型サービスCの利用などにより、早期に生活機能の回復を図り、地域活動などに参加し、生活を維持することができる。		

3 自立支援・重度化防止、適正化事業の推進

令和元年度に行った介護給付分析によると、要支援1の方の34.6%、要介護1の方の28.1%が1年後に介護度が重度化していたことから、自立支援・重度化防止の推進と介護給付費等費用適正化事業の推進により、認定を受けている方が現在の心身機能を維持・改善し、自立した生活を続けることができる支援体制を図ります。



本目標の KPI

	平成 30 年実績	令和 5 年目標
要支援1の方の重度化率の減少	34.6%	30.0%以下
要介護1の方の重度化率の減少	28.1%	25.0%以下
自立支援地域ケア会議やケアプラン点検などにより、セルフケアやインフォーマルサービスの活用、さらには、一般介護予防事業や生活支援体制整備事業において拡充される「地域のひろば」等への参加により、重度化への移行を予防する。		

4 自立支援に向けた介護予防事業の推進

(1) 地域のひろば推進事業

事業概要	<p>地域住民に対して、通いの場を提供し、地域の人々とのふれあいを基として社会的孤立を防止し、生きがいきり、閉じこもり予防、認知症予防、心身機能の向上等の介護予防を推進しています。地域が企画運営を自ら行なう自主運営型と霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカーが自主運営に向けてのサポートを行う委託型があります。</p> <p>通いの場を互助の活動に広げていくために、生活支援コーディネーターを中心に、実施地区の事例の広報を行いながら、地域のボランティアリーダー人材の発掘・養成を行っていきます。</p> <p>また、生活習慣病等の重症化予防等の目的で、参加者に対し問診やフレイル予防の講話等を行います。</p>		
事業区分	地域支援事業 総合事業 一般介護予防事業 地域介護予防活動支援事業		
対象者	地縁団体（地区自治公民館、自治会）	開始年度	2017(平成 29)年度
事業関係者	霧島市社会福祉協議会、霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー、健康運動普及推進員、食生活改善推進員、ボランティアポイント登録者、霧島どんサポートの会等		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
実施箇所数	79 箇所	130 箇所	

(2) 運動体操グループ（仮称）の設置（新規）

事業概要	<p>通所型サービスCや通所介護等を終了した方の受け皿として、体操・運動に特化した教室を各圏域で実施します。</p> <p>参加者へは体力テストや問診を行うことで身体能力の評価を実施し、参加することで心身機能を維持・向上ができる機会とするとともに、自宅でできるセルフケアの習得や地域活動等への参加を促し、元気高齢者を支援します。</p>		
事業区分	地域支援事業 総合事業 一般介護予防事業 地域介護予防活動支援事業		
対象者	高齢者	開始年度	※新規事業
事業関係者	霧島市地域包括支援センター、霧島どんサポートの会		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
通所型サービスC事業から地域活動につながった人数	—	80 人	

(3) 介護予防普及啓発事業

事業概要	高齢者がいくつになってもいきいきとした生活を送ることができるよう、介護予防の取り組みを積極的に行うため、地域のひろばや老人クラブ等の通いの場に栄養や運動、口腔ケアなどに関する知識の普及のための出前講座を行っており、霧島市地域包括支援センター職員その他の専門職を派遣しています。今後も、地域における健康づくり活動の支援を行っていきます。		
事業区分	地域支援事業 総合事業 一般介護予防事業 介護予防普及啓発事業		
対象者	地縁団体等	開始年度	※新規事業
事業関係者	霧島市地域包括支援センター、霧島どんサポートの会、始良地区薬剤師会 在宅歯科衛生士、在宅管理栄養士等		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	通いの場派遣回数	108回	200回
	参加人数	1,968人	2,500人

(4) 地域リハビリテーション活動支援事業

事業概要	地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民主体の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与が重要となることから、地域のひろばや老人クラブ等の通いの場への派遣、居宅訪問でのケアマネジメント支援、事業所支援等を行います。 また、住宅改修訪問点検、福祉用具の選定アドバイス、通所事業所への指導・助言等の給付適正化への関与や、フレイル予防を目的とした「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に関与してもらい、効果的な仕組みづくりを進めていきます。		
事業区分	地域支援事業 総合事業 一般介護予防事業 地域リハビリテーション活動支援事業		
対象者	市民、地縁団体、通所介護事業所等	開始年度	2018(平成30)年度
事業関係者	霧島どんサポートの会（霧島市の理学療法士有志の会）等		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	リハビリ専門職派遣回数	18回	60回

(5) 一般介護予防事業評価事業

事業概要	介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等の検証を行い、一般介護予防事業を含め、地域づくりの観点から総合事業全体を評価し、その評価結果に基づき事業全体の改善を行います。		
事業区分	地域支援事業 総合事業 一般介護予防事業 一般介護予防事業評価事業		
対象者	関係機関	開始年度	2019(令和元)年度
事業関係者	霧島市地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、霧島どんサポートの会、霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー、健康増進課、すこやか保健センター		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	開催回数	1回	年2回

5 生きがいくりと社会参加の促進

(1) 老人クラブ連合会運営支援事業

事業概要	<p>老人クラブは、地域にお住まいの高齢者を対象として、社会参加・生きがいくり・仲間づくり・健康づくりなどの推進を図っており、高齢者が安心して暮らすために近所の方と支えあい、自ら集まりを行っているほか、健康活動や友愛活動、奉仕（ボランティア）活動を行っています。</p> <p>また、本市は、高齢者自身が主体性をもって社会参加する活動や発案して行っている活動について、霧島市老人クラブ連合会に補助金を交付し、高齢者の生きがいくり、社会参加を促進する活動を支援しており、今後も継続して支援します。</p>		
事業区分	老人福祉費事業		
対象者	霧島市老人クラブ連合会	開始年度	2005(平成17)年度
事業関係者	——		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	参加箇所数	117 クラブ	130 クラブ
	参加人数	5,507 人	5,800 人

(2) 長寿祝金支給事業

事業概要	<p>高齢者の長寿を祝福し、敬意を表するため、節目となる年齢の方を対象として、長寿祝金の支給を行っています。</p> <p>毎年度満 88 歳（1 万円）、満 95 歳（3 万円）及び 100 歳（10 万円）の節目の年齢に到達する方に祝金を支給します。また、男女それぞれの市内最高齢者については、別途記念品を贈呈します。</p> <p>引き続き、高齢者に敬意を表する事業として継続して実施します。</p>		
事業区分	老人福祉費事業		
対象者	高齢者（節目支給対象者）	開始年度	1957(昭和 32)年度
事業関係者	——		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	支給対象者	1,081 人	1,100 人

(3) 市民農園支援・体験事業

事業概要	<p>①霧島高原自然体験ツーリズム協議会・農業体験</p> <p>本市では、霧島高原自然体験ツーリズム協議会が実施している「まるまるきりしま体験」を、老人団体や自治会等の研修旅行のメニューとしても提供しており、ブドウ狩りなど季節の農作物の収穫をはじめとしたさまざまな体験学習を行っております。今後も継続して実施していきます。</p> <p>②市民農園支援事業</p> <p>本市では、国分地区にある市民農園を、農業関係者以外の方に 2 年間の契約で、無償貸し出しをおこなっており、農業体験を通して、農業に対する理解を深める取り組みや、高齢者を含めた市民の皆様方の健康づくりや生きがいづくりにつながる取り組みをおこなっています。</p>		
事業区分	①霧島高原自然体験ツーリズム協議会・農業体験事業 ②市民農園支援事業		
対象者	市民	開始年度	——
事業関係者	①観光 PR 課 ②農政畜産課		

6 高齢者の就労支援・社会貢献の促進

(1) シルバー人材センター運営支援事業（シルバー人材センターの活用）

事業概要	<p>シルバー人材センターは、60歳以上の健康で就労意欲のある高齢者に対して地域社会の日常生活に密着した仕事の機会を提供しており、地域における高齢者の就業の場を確保するために大きな役割を果たしています。</p> <p>訪問型事業 A の活動も担っており、提供を増やすための提供体制の確保と、運営費支援や業務量の拡大、機能強化に向けた支援を行うことで、高齢者の就業機会の確保・提供に努めます。</p>		
事業区分	老人福祉費事業		
対象者	シルバー人材センター	開始年度	2005(平成17)年度
事業関係者	——		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	会員数	1,045 人	1,080 人
	受託件数	8,813 件	9,000 件

(2) 介護保険ボランティアポイント事業（地域介護予防活動支援事業）

事業概要	<p>ボランティア活動を通じ、介護予防、生きがいづくりを推進する事業です。</p> <p>ボランティア登録をした方が、指定受入機関（介護事業所、小学校、通いの場）等でのボランティア活動1時間につき、100 ボランティアポイントが付与され、ポイントの取得数により、年間で介護保険料基準月額額の1割程度（令和2年度現在：最大7,200円）が交付されます。</p> <p>ボランティア登録員が、高齢者施設等での活動に加え、地域の高齢者の生活支援・介護予防の担い手となれるよう参加者の意欲向上に努め、より多くの高齢者が社会参加できるようにサポートします。</p>		
事業区分	地域支援事業 総合事業 一般介護予防事業 地域介護予防活動支援事業		
対象者	第1号被保険者	開始年度	2009(平成21)年度
事業関係者	霧島市社会福祉協議会		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	登録人数	317 人	400 人

(3) 高齢者グループポイント事業

事業概要	65 歳以上の高齢者を含む 5 名以上の任意のグループがボランティア活動を 1 時間以上行った場合、1 ポイント=1,000 円に交換できるポイントを付与します。 より多くのグループに参加していただくため、現在登録している団体の活動を広く市民に周知を図り、登録団体数の増加を目指します。		
事業区分	老人福祉費事業（鹿児島県補助事業）		
対象者	高齢者を含む住民グループ	開始年度	2014(平成 26)年度
事業関係者	——		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	参加人数	105 人	125 人

(4) 高齢者学級運営事業

事業概要	高齢者が相互の親和を深め、教養を高めるために、高齢者自身が、学習内容を計画し、市内 6 地区で講座を展開しています。事業の中の取り組みの一つとして、高齢者と子ども達とのふれあい学習を行い、世代間交流を図っています。		
事業区分	高齢者学級運営事業		
対象者	60 歳以上の市民	開始年度	1975(昭和 50)年度
事業関係者	社会教育課		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	参加人数	1,570 人	1,600 人

(5) 公民館定期講座開設事業

事業概要	市内 7 地区の拠点公民館を中心に「定期講座」を開設し、身近に学習できる機会を提供しています。 多様な講座を開設し、学んだあとは自らも、「きりしま地域人材バンク」へ登録することが可能です。 今後も継続して支援します。		
事業区分	公民館定期講座開設事業		
対象者	市民	開始年度	2006(平成 18)年度
事業関係者	社会教育課		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	参加人数	3,010 人	3,200 人

(6) きりしま地域人材バンク

事業概要	本市では、「きりしま地域人材バンク」を設置しており、生涯学習や社会教育に関する豊かな知識や経験、技能を持っている方がボランティアとして登録しています。各種行事や団体等の催し物等で、ボランティアの派遣依頼があった際に紹介を行っています。 今後も継続して支援していきます。		
事業区分	きりしま地域人材バンク		
対象者	市民	開始年度	2003(平成15)年度
事業関係者	社会教育課		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	登録者数	1,604人	1,700人

7 高齢者が活躍できる場の確保

(1) 社会福祉施設総務管理事務事業（国分総合福祉センターの管理運営）

事業概要	高齢者等に対して健康の増進、教養の向上及び福祉の増進を目的として設置された、国分総合福祉センターの管理運営を行います。 [2023(令和5)年度までは霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定しています。] 指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組めます。		
事業区分	社会福祉施設費事業		
対象者	高齢者、身体障害者	開始年度	1998(平成10)年度
事業関係者	霧島市社会福祉協議会		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	施設利用者数	36,224人	38,000人

(2) 社会福祉施設総務管理事務事業（隼人総合福祉センターの管理運営）

事業概要	<p>高齢者等に対して健康の増進、教養の向上及び福祉の増進を目的として設置された、隼人総合福祉センターの管理運営を行います。</p> <p>[2023(令和 5)年度までは霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定しています。]</p> <p>指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組めます。</p>		
事業区分	社会福祉施設費事業		
対象者	高齢者、身体障害者	開始年度	1993(平成 5)年度
事業関係者	霧島市社会福祉協議会		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	施設利用者数	3,586 人	3,600 人

(3) 社会福祉施設総務管理事務事業（溝辺ふれあい温泉センターの管理運営）

事業概要	<p>市民の健康増進と福祉の向上を図るため設置された、溝辺ふれあい温泉センターの管理運営を行います。</p> <p>[2023(令和 5)年度までは霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定しています。]</p> <p>指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組めます。</p>		
事業区分	社会福祉施設費事業		
対象者	市民	開始年度	1999(平成 11)年度
事業関係者	霧島市社会福祉協議会		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	施設利用者数	59,625 人	55,000 人

(4) 社会福祉施設総務管理事務事業（横川健康温泉センターの管理運営）

事業概要	市民の健康増進と福祉の向上を図るため設置された、横川健康温泉センターの管理運営を行います。 [2023(令和 5)年度までは霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定しています。] 指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組めます。		
事業区分	社会福祉施設費事業		
対象者	市民	開始年度	1994(平成 6)年度
事業関係者	霧島市社会福祉協議会		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
施設利用者数	42,309 人	40,000 人	

(5) 社会福祉施設総務管理事務事業（霧島温泉健康増進交流センターの管理運営）

事業概要	市民の健康増進と福祉の向上を図るため設置された、霧島温泉健康増進交流センターの管理運営を行います。 [2023(令和 5)年度までは霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定しています。] 指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組めます。		
事業区分	社会福祉施設費事業		
対象者	市民	開始年度	1998(平成 10)年度
事業関係者	霧島市社会福祉協議会		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
施設利用者数	29,628 人	30,000 人	

第2節 健康づくりの推進

① これまでの取り組みと現状

高齢者は加齢に伴い慢性疾患による受療が多く、複数の疾病にかかりやすい、また、要介護の発生率が高い特徴があります。このため、医療と介護両方を必要とすることが多くなります。

令和2年度からは、疾病予防、重症化の予防、そして健康寿命の延伸を目的に、後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、すこやか保健センターに専任の保健師を配置し、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施を始めました。

特定健診や長寿健診を受診し、疾病の早期発見・重症化予防につなげ元気な高齢者を増やす取り組みを行っています。

同時に、通いの場等へ健康教育の出前講座を行い、市民への健康意識の向上のための取り組みを図ります。

② 課題

- 特定健診、長寿健診をより多くの方に受診してもらうための周知及び啓発
- 生活習慣病重症化予防の取り組み強化
- フレイル予防の取り組み強化
- 健康教育のメニュー開発

③ 基本事業の方向性

今後も継続して、保健・医療・介護・福祉の連携を図り、疾病の発症予防及び重症化予防に重点をおいた取り組みを推進していきます。

また、医療レセプト・介護給付・健診結果などの非常に機微な個人情報に基づいた事業展開が求められていることから、庁内・関係機関とその取扱いに関する運用方法（ルールづくり）が求められています。

1 健康づくり事業の推進

(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

事業概要	<p>介護保険制度の適正かつ、効率的な運営を図るための健康保険法の一部を改正する法律の施行に伴い、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施が求められ、本市ではすこやか保健センターに専任の保健師を配置し、75歳以上の高齢者の健康支援と健康寿命の延伸を目的に、令和2年度から開始しました。</p> <p>具体的には、健康診査の結果に基づいた重症化予防を目的とした訪問等による個別指導の実施、健康状態不明者の把握を行い、医療・介護サービスへのつなぎ等を行います。また、地域のひろばなどの通いの場に保健師、管理栄養士、歯科衛生士等が出前講座を行い、市民へのフレイル予防に関する普及啓発を行うとともに、地域のひろばの参加者を把握し、参加者の状態像や予防効果などの評価事業も行っていきます。</p>		
事業区分	後期高齢者医療特別会計		
対象者	75歳以上	開始年度	2020(令和2)年度
事業関係者	保険年金課 すこやか保健センター		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
通いの場等へのフレイル予防講座	——	年間 50 箇所	
特定健診受診率	——	50%	
長寿健診受診率	——	40%	

(2) 健康づくり事業

事業概要	<p>生活習慣病予防やこころの健康づくりについて、知識の普及や健康づくりの意識の高揚のために、市民健康講座を開催しています。</p> <p>また、食生活改善推進委員や健康運動推進委員が通いの場で、座ってできる料理や、パッククッキング、健康体操の指導を行っています。</p> <p>今後は、独居の高齢者に向けた簡単にできるレシピの配布や、見守り事業も兼ねた、塩分濃度の計測を行うなど、幅広い活躍の場を開発・構築していきます。</p>		
事業区分	健康づくり事業		
対象者	市民	開始年度	——
事業関係者	健康増進課		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
開催件数（市民健康講座）	2回	2回	
開催件数（出前講座）	4回	5回	

2 市民の健康づくりを支援する体制の構築

(1) 食生活改善推進委員・健康運動推進委員の連絡会

事業概要	食生活改善推進委員や健康運動推進委員が知識や取り組みの共有や研修会・相談会を行えるような場を提供しており、地域の健康づくりのリーダーを育成支援しています。 今後も継続して支援していきます。		
事業区分	食生活改善推進委員・健康運動推進委員の連絡会事業		
対象者	市民	開始年度	——
事業関係者	健康増進課		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	食生活推進委員人数	104人	104人
	健康運動推進委員人数	69人	69人
	連絡会開催回数	12回	12回

(2) いきいきチケット支給事業

事業概要	70歳以上の方、または身体障害者手帳、療育手帳、もしくは精神障害者保健福祉手帳の所有者を対象として、はり・きゅう・あん摩マッサージの施術、温泉・市営プールの利用並びに市内のバス・タクシーへの乗車ができるチケットを交付します。 今後は利用者に、介護予防リスク者の把握のきっかけになるような取り組みを検討します。また、生きがいつくりに向けてチケットが有効活用されるよう、チケットの対象事業について検討と、利用率が向上するように努めます。		
事業区分	老人福祉費事業		
対象者	70歳以上の高齢者 身体障害者手帳等の所有者	開始年度	2005(平成17)年度
事業関係者	はりきゅうマッサージ事業者 温泉・市営プール事業者、バス・タクシー事業者		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	はり・きゅう・あん摩マッサージ券	16,285部	16,421部
	温泉・市営プール・バス・タクシー券	18,873部	19,031部

(3) 健康福祉まつり開催事業

事業概要	<p>医療及び福祉関係等の団体で構成する「霧島市健康福祉まつり実行委員会」を設立し、霧島市との共催により、市民の健康づくり並びに福祉の推進のため、市民総ぐるみの啓発活動を実施することを目的として健康福祉まつりを開催しています。</p> <p>今後も、より多くの市民が参加できるように内容の検討を行いながら開催していきます。</p>		
事業区分	健康福祉まつり開催事業		
対象者	市民	開始年度	2005(平成17)年度
事業関係者	保健福祉政策課、健康増進課、霧島市社会福祉協議会、医療及び福祉関係等の団体		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	来場者数（延べ人数）	5,342人	6,000人
	参加団体数	40団体	40団体